

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地							
国際医療福祉専門学校七尾校		平成19年3月27日		花田 邦和		〒926-0816 石川県七尾市藤橋町西部1番地 (電話)0767-54-0177							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地							
学校法人 阿待院寺 教育学園		昭和61年3月17日		宇野 弘之		〒290-0011 千葉県市原市能満字崩山1654-4 (電話)043-208-1600							
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士					
医療		医療専門課程		救急救命学科		平成27年文部 科学省告示第 21号		—					
学科の目的		本校、救急救命学科の基本方針として①国家試験合格②地方公務員合格③地域社会貢献の3本の矢をかかげている。救急救命士として必要な知識、技術、規律を身に磨き生活の面からも徹底した指導を行っている。また、地域拡大に伴い、社会のニーズに沿った教育を提供し、幅広い領域の授業を配し、広い視野を持った専門家を育成する。											
修業年限		全課程の修了 に必要な総時		講義		演習		実習		実 験		実 習	
3 年		2505時間 92単位		1200時間 60単位		-		1305 時間 32単 位		-		-	
生徒総定員		生徒実員		留学者数(生徒実員の 内数)		専任教員数		兼任教員数		総教員数			
105人		28人		0人		3人		25人		27人			
学期制度		■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価		■成績評価の基準・方法 各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者は、その科目については評価を受けることができない。							
長期休み		■学年始: 4月1日 ■夏 季: 8月6日～8月28日 ■冬 季: 12月17日～1月3日		卒業・進級 条件		全科目単位認定(92単位、2505時間)を受け、かつ校長が卒業を認めたもの。							
学修支援等		■クラス担任制: 有		課外活動		■課外活動の種類 ボランティア活動、地域交流活動							
就職等の 状況※2		■主な就職先、業界等 (令和 5 年度卒業生) 消防署、病院 ■就職指導内容 就職試験対策として①就職活動の流れと情報収集の仕方、②履歴書の書き方、③面接対策、④小論文対策などを講義形式で指導 ■卒業者数 16 人 ■就職希望者数 16 人 ■就職者数 16 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 100 % ■その他 -進学者数: 0人 -他分野への就職: 0人 (令和 5 年度卒業者に關する 令和6年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和5年度卒業 者に關する平成29 資格・検定名 種別 人数 ② 16人 16人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄							
中途退学 の現状		■中途退学者 0 名		■中途退学 0 %		令和5年4月1日時点において、在学者28名(平成5年4月入学者を含む) 令和6年3月31日時点において、在学者28名(令和6年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中途退学・中退者支援のための取組 -入学後早期の合同合宿などの行事による学生間交流の促進を図る -定期的な学生個人面談の実施による密な学生把握 -学生主体による学習グループで、定期試験・国家試験対策の勉強を行う。							
経済的支援 制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 入学試験の一般入学試験において総合問題試験の得点率が80%以上の学生に対し、入学金額と初年度前期授業料の半額免除 入学試験の一般入学試験において総合問題試験の得点率が90%以上の学生に対し、入学金額と初年度前期授業料の全額免除 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載											
第三者による 学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)											
当該学科の ホームページ URL		http://kifs-nanao.ac.jp/department/physiotherapy/											

(留意事項)
2. 就職等の状況(※2)
3. 主な学修成果(※3)

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針			
<p>本校の教育理念は、教育基本法及び学校教育法に基づき専修学校教育を行い、専門職として必要な知識及び技能を教授し、社会に貢献できる人材を育成することである。救急救命学科は、上記の教育理念に則り、現状に沿った最新の専門知識・技術等の習得、地域社会を視野に入れた専門性の獲得を目的として非常勤講師の専門授業や臨床現場での学外授業を積極的に展開するとともに、学生の勉学に対する内発的動機を高められる授業内容・方法の検討を基本方針とする。</p>			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け			
<p>本校救急救命学科の教育課程編成委員会は、教務委員会の専門委員会としての位置づけとして設置されている。本委員会は、本校学則第1条に定められた教育理念に基づき、救急救命士関連の消防機関・医療機関及び専門職団体等の協力を得て、本校の教育課程について協議し、改善等を行うものである。</p> <p>主な審議事項としては以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育課程の編成に関する事項 ・授業科目の開設・内容及び教育方法等に関する事項 ・実習・演習等に関する事項 ・その他教育課程編成に関する事項 			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿			
令和5年11月30日現在			
名 前	所 属	任 期	種 別
清水 光治	富山大学 北越地域医療人養成センター	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	②
松林 大司	白山野々市消防本部	平成29年4月1日～平成30年3月31日(2年)	③
丸山 大貴	恵寿総合病院	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
<p>※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。</p> <p>①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)</p> <p>②学会や学術機関等の有識者</p> <p>③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員</p>			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期			
年に2回実施していくこととする。			
(開催日時)			
第1回 令和5年7月26日(水)13:00～14:00			
第2回 令和5年12月20日(水)13:00～14:00に開催予定			
2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針			
<p>現状に沿った最新の専門知識・技術等の習得、臨床現場を想定した応用力の習得、臨床現場や対象者との関わりをおとした臨床イメージの構築の機会を学生へ提供できるように、消防機関・病院・施設との連携を密におこなっていく。</p>			
科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等	
救急車同乗見学実習Ⅰ	40時間の消防署実習を行い、救急車同乗見学を通して消防署職員としての救急救命士の役割・基本的態度、緊急時の対応等を見学する。その他、メディカルラリー、救急救命選手権見学を行う。	七尾鹿島消防本部、金沢市消防局、高岡市消防本部、射水市消防本部、砺波広域圏消防本部 他	
救急車同乗体験実習Ⅱ	1週間の消防署での救急車同乗体験を通して、消防署職員としての救急救命士の役割・基本的態度、緊急時の対応等を習得する。	七尾鹿島消防本部、金沢市消防局、高岡市消防本部、射水市消防本部、砺波広域圏消防本部 他	
臨床見学実習Ⅰ	2週間の救命救急病棟見学を通して、医療従事者としての基本的態度を身につけ、救急救命士の病院における役割、他の医療従事者との関わりを学ぶ。	恵寿総合病院、金沢大学附属病院、富山県立中央病院、厚生連高岡病院、富山大学附属病院、福井大学医学部附属病院	
臨床体験実習Ⅱ	3週間、救命救急病棟にて医療的行為の体験することによって、救急救命士の行うことができる医療技術を身につけ、医療従事者とのチームアプローチを習得する。	恵寿総合病院、金沢大学附属病院、富山県立中央病院、厚生連高岡病院、富山大学附属病院、福井大学医学部附属病院	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校の職員研修規程は、国際医療福祉専門学校七尾校就業規則第86条の規定に基づき、職員に現在就いている職又は将来就くことが予想される職の職務と責任の遂行に必要な知識、技能等を修得させ、その他その遂行に必要な職員の能力、資質等を向上させることを目的とする。また、研修の効果を高めるために計画的な研修実施及び研修報告をおこない、職員全体の自己啓発の意欲の向上を図る。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・専修学校における学校評価ガイドライン及び本校学則第4条第2項に基づき、教育、組織及び運営並びに施設及び設備等の状況を明確化する。
- ・本校自己点検評価の結果を基本として、学校関係者評価委員会の中で学校評価を実施する。
- ・本校の現状について、学外へ適切に公表する。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年3月時点

名前	所属	任期	種別
谷一 勝悟	七尾市役所 健康福祉部福祉課 課長	令和6年4月1日～令和7年3月31日まで	企業等委員
津田 博美	社会福祉法人 七尾市社会福祉協議会 会長	令和6年4月1日～令和7年3月31日まで	企業等委員
中村 幹泰	在学生保護者・後援会 会長	令和6年4月1日～令和7年3月31日まで	PTA
沖崎 琴	特別養護老人ホーム あかかみ 理学卒業生	令和6年4月1日～令和7年3月31日まで	卒業生
岩島 誠	公立能登総合病院 理学卒業生	令和6年4月1日～令和7年3月31日まで	卒業生
沖崎 孝裕	市立輪島病院 作学卒業生	令和6年4月1日～令和7年3月31日まで	卒業生
皆川 直樹	津幡町消防署本部 救命卒業生	令和6年4月1日～令和7年3月31日まで	卒業生
村田 敏子	自立ホームけいじゅ 介護卒業生	令和6年4月1日～令和7年3月31日まで	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://kifs-nanao.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

原則、ホームページを媒体として不特定多数へ対しての情報公開をおこなう。臨床実習において臨床実習指導者会議を開催し、臨床実習病院・施設との情報共有を積極的に実施していく。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念・ポリシー
(2) 各学科等の教育	作業療法学科(学びのポイント、カリキュラム)
(3) 教職員	教員紹介
(4) キャリア教育・実践的職業教育	教育プログラム
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業・学習、キャンパスガイド
(6) 学生の生活支援	学校生活、登校、暮らし
(7) 学生納付金・修学支援	就職支援、お金(学費・諸経費、奨学金)
(8) 学校の財務	学校法人阿弥陀寺教育学園の財務諸表
(9) 学校評価	学校関係者評価、自己点検・評価書、学生による授業評価
(10) 国際連携の状況	なし
(11) その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <http://kifs-nanao.ac.jp/>

授業科目等の概要

(医療専門課程 救急救命学科) 令和6年度																
必修	分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・英技	校内	校外	専任	兼任		
○			生命倫理学	人間の尊厳と自立、介護にける尊厳の保持・自立支援について学習する。	1前	15	1	○			○			○		
○			心理学入門	人間の心のしくみと行動を通して、人間理解の基礎を学ぶ。	1前	15	1	○			○				○	
○			教育学	職業人として、必要な情報を収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて伝達できる能力を身につける。	1前	15	1	○			○			○		
○			英語会話	様々なテーマについて、賛成、反対の英語表現を学ぶとともに、自分の意見をまとめ、相手の意見を理解する練習を通して、ディスカッションやディベートができるようにする。	1前	30	2	○			○					○
○			医学英語	臨床で使われている医学用語を学ぶ。	1後	15	1	○			○					○
○			運動科学	人間にとって運動の必要性とスポーツがからだに働きかけてその能力を考えていく知識、方法等を科学的な事実を通して学んでいく。	1前	30	2	○			○					○
○			運動科学実習	生活に必要な基礎体力を養い、運動する上での必要な持久力、スピード、筋力を高める。また、運動を通して協調性を養い、円滑な人間関係を築くことができるように授業を実施する。	1前	30	1	○			○					○
○			就職対策講座Ⅰ	公務員試験に向けて、着実に実力が付くよう概説する。	1後	30	2	○			○					○
○			就職試験対策講座Ⅱ	公務員試験に向けて、着実に実力が付くよう概説する。	2前	30	2	○			○					○
○			公務員試験対策講座Ⅰ	最近の出题傾向を中心に地方初級試験に的を絞り着実に実力が付くよう概説する。	2後	30	2	○			○					○
○			公務員試験対策講座Ⅱ	最近の出题傾向を中心に地方初級試験に的を絞り着実に実力が付くよう概説する。	3前	60	4	○			○					○
○			情報科学	基本的なパソコンの設定から電子メール、ワープロ、表計算、プレゼン等のアプリケーションソフトの使い方を学び、電子カルテの基本的な操作まで学ぶ。基本的なマナーを確認しながら授業を進める。	1前	30	2	○			○					○
○			基礎数学	就職試験（公務員試験含む）に向け、SPIの理解（割合・割引、速読算）が出来るように授業を進める。	1前	15	1	○			○					○
○			解剖学	解剖学のはじめとして、人体の基本的構造と機能を理解する。	1前	30	2	○			○					○
○			生理学	生理学として人体の機能及び心身の発達に関する知識を理解する。	1後	30	2	○			○					○

○		精神障害学	疾病の原因および形態的变化を、主要疾病と関連させながら基本的内容について学ぶ。精神疾患を学び、救急活動に反映させる。	2 前	15	1	○											
○		骨関節障害学	医療専門職に必要な整形外科的知識を、各論を通して、その病態と診断、治療について学ぶ。	2 前	15	1	○											
○		神経筋障害学	疾病の原因および形態的变化を、主要疾病と関連させながら基本的内容について学ぶ。脳神経系に生じる各種疾患について概説する。	2 前	15	1	○											
○		疾病救急医学特論	国家試験過去問題を中心に解説し、より疾病救急医学分野の理解力を深める。	2 前	60	4	○											
○		外傷救急医学Ⅰ	JPTECにおけるガイドラインを理解し、ブラチナタイム・ゴールデンアワーの重要性を学習し、PTDの機軸に繋げられるよう系統的に学習する。	1 後	60	2	○											
○		外傷救急医学Ⅱ	外傷における二次災害の危険を学ぶ。また、外傷性ショックを理解し、現場活動のスキルを学ぶ。外傷における緊急度・重症度の判断を行い、処置・搬送のスキルを学ぶ。	2 前	30	1	○											
○		外傷救急医学Ⅲ	成人の外傷から始まり、特殊な環境(妊婦・小児・高齢者)などの外傷学を学ぶ。また、熱傷や化学損傷などの特別な外傷学を学ぶ。	2 後	30	1	○											
○		外傷救急医学特論	国家試験過去問題を中心に解説し、より外傷救急医学分野の理解力を深める。	3 後	60	2	○											
○		環境傷害・急性中毒学	多様な中毒症状や、あらゆる環境傷害を理解し、救急活動に生かす。	2 後	30	1	○											
○		基礎演習	習得した知識を、実際に資器材を使用し、的確に実践できるよう基礎的能力を身につける。	1 前	45	1					○							
○		応急処置Ⅰ	習得した知識や救急隊員(救急標準課程)として必要な技術を病院前救護において実践できるよう基礎的能力を身につける。	1 前	90	2					○							
○		応急処置Ⅱ	習得した知識や救急救命士として必要な技術を病院前救護において実践できるよう基礎的能力を身につける。	1 後	90	2					○							
○		救急救命処置Ⅰ	総合シミュレーションに向けた接遇・基本手技の基礎を確実に身につけ、救急現場活動に生かせる技術習得を目標とする。	2 前	90	2					○							
○		救急救命処置Ⅱ	迅速・確実なシミュレーション活動を身につけ、救急現場で生かせる技術を身につけることを目標とする。	2 後	90	2					○							
○		救急車同乗見学実習Ⅰ	消防署での救急車同乗見学、メディアカメラ、救急救命選手権を通して、救急救命士の役割・基本的態度、緊急時の対応等をイメージする。	1 後	45	1					○							
○		救急車同乗体験実習Ⅱ	1週間の消防署での救急車同乗体験を通して、消防署職員としての救急救命士の役割・基本的態度、緊急時の対応等を習得する。	2 後	45	1					○							
○		救急車シミュレーション実習	救急車内の機材・装備を理解し、救急車内でスムーズに救急活動ができるようにする。	3 後	135	3					○							

○		臨床見学実習Ⅰ	2週間の救命救急看護見学を通して、医療従事者としての基本的態度を身につけ、救急救命士の病院における役割、他の医療従事者との関わりを学ぶ。	2 後	90	2				○					
○		臨床体験実習Ⅱ	3週間、救命救急看護にて医療的行為の体験することによって、救急救命士の行うことができる医療技術を身につけ、大量災害者とのチームアプローチを習得する。	3 前	135	3				○					
○		総合シミュレーション実習Ⅰ	学校敷地内、様々な場所にて外傷シミュレーション実習を行い、救急活動に活かす。	3 前	90	2				○					
○		総合シミュレーション実習Ⅱ	学校敷地内、様々な場所にて心肺停止シミュレーション実習を行い、救急活動に活かす。	3 前	90	2				○					
○		総合シミュレーション実習Ⅲ	学校敷地内での様々な内容のシミュレーション実習を通して、各疾患に対する救命救急処置を理解し、隊の1員として、チームの中で活動できるようにする。	3 後	90	2				○					
合計				54科目	2505時間(92単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
必修科目の単位認定(126単位)を受け、かつ校長が卒業を認めたもの。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	20週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。